



秋風が心地よい季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

去る9月25日・26日の両日、第54回「松輝祭」が盛大に開催されました。生徒一人ひとりが主体的に動き、全校の力が一つに結集した、素晴らしい文化祭となりました。



1日目：オープニングからステージ発表・展示見学まで熱気につつまれる



オープニングセレモニーの幕開けから、外国語スピーチ、ガリレオ倶楽部や演劇部の情熱的な発表、そして文化部・吹奏楽部による迫力満点の演奏まで、見どころが詰まった充実の一日となりました。それぞれの持ち場で一生懸命に表現し、仲間と作り上げたステージの光景に、会場が大きな感動と笑顔に包まれました。

「人生初の文化祭でした。練習の時より見てくれる人がたくさんいてドキドキしたけど、すごく盛り上がって、すごく嬉しかったです」。「外国語スピーチやガリレオ部、演劇部の発表もすごくおもしろくて感動しました。最後の吹奏楽部の発表では、全校のみんながノリノリで手拍子や掛け声を送ってくれて最高でした」。「ステージ発表はどれも工夫されていて、すごく盛り上がってあっという間の時間でした」。「吹奏楽部の演奏はすごかった。先生たちも登場して、会場中が一つになって最高に盛り上がりました」。



2日目：心をつないだ合唱発表会

2日目の合唱発表会では、どの学年・クラスもこれまでの練習の成果を存分に発揮しました。

1年生：初めての松輝祭。先輩の生き生きとした姿に刺激を受けながら、クラスの仲間と作り上げたクラス合唱や、学年全員で心を合わせて歌い上げました。**2年生：**中堅学年として、美しいハーモニーとメリハリのある素晴らしい合唱を作り上げ、来年への確かな手応えを残しました。**3年生：**最高学年として圧倒的な存在感を示し、全校をリードする姿は後輩の大きな憧れとなりました。



「今までの練習の成果が出てよかったです。3年生の合唱はやっぱり歌い方への思いが違って、心に響きました。私も来年はあんな風になりたいです」。「空き時間で何ができるか、来る人にどんな印象を与えることができるかを考えられました。練習で苦労した分、楽しさと達成感を味わうことができました」。「最初はうまく歌えるか不安もあったけど、みんなで声を合わせていくうちにどんどん楽しくなりました。本番は今までの練習の成果を出し切ることができてよかったです」。「空き時間で何ができるか、自分たちで考えて行動できました。みんなで歌い上げたときの達成感は忘れられません」。



笑顔と歓声が弾けた「ミニ運動会」

10月2日（金）には、全校生徒が心待ちにしていたミニ運動会が開催されました。障害物リレーや縦割り学級での綱引きなど、さまざまな競技に挑んだ生徒。クラスの勝利を目指して全員で声を掛け合い、力を合わせる姿や、上級生・下級生の垣根を越えて縦割りの仲間を懸命に応援する姿があちこちで見られました。勝敗の枠を超え、互いをたたえ合いながら全校が一体となって盛り上がり、より一層深い絆で結ばれた一日となりました。



今年度の松輝祭スローガンは「架け橋 ～全校の声をカタチに～」です。一人ひとりの思いや声を大切に繋ぎ、全校で協力して行事を作り上げようという想いが、この運動会でも見事に具現化されていました。文化祭から運動会へと続く一連の行事を通して、生徒の個性が豊かに輝き、互いに刺激し合って大きく成長していく姿を数多く実感することができました。

文化祭の輝きを未来へ – 自ら考え、対話する力を「校長講話」



10月の「後期人権同和月間」にあたり校長講話が行われました。松輝祭での生徒の輝きや成長に触れながら、対話を通して他者の「見えない心の声」を形にし、互いに受け止め合う大切さが語られました。また、誰かに任せきりにせず「自らの頭で考え対話する力」を育てる重要性についても話がありました。歴史的な過ちや悲劇を二度と繰り返さないためにも、周りに流されることなく自分自身の心と頭で考え、どんな出来事も

「自分事」として優しく向き合っていく姿勢を全校で確かめました。

保護者の皆様におかれましては、各種行事におけるご理解と温かいご協力をいただき、誠にありがとうございました。引き続き、本校の教育活動への温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

